

30年以降の新潟米生産の方向性(新潟米基本戦略)について

〔基本的な考え方〕

需要に応じた米生産を基本としつつ、主食用米・非主食用米を合わせた米全体での需要拡大と、生産者所得の最大化のための多様な米づくりを推進



〔取組方向〕

銘柄間で需給に差があるため、用途ごとに需要に応じた生産を推進するものとする。

- コシヒカリは家庭内消費が中心であり、その需要の減少に見合った生産を行う一方で、良食味・高品質米を確保するため、食味を重視した米づくりを徹底する。
なお、中山間地域等においては立地条件を活かし、付加価値の高い米づくりを進める。
- 業務用米や加工用米・輸出用米・米粉用米は、県内をはじめ国内外の外食・食品産業等との関係を構築し需要の拡大を図るとともに、生産者の所得確保に向け多収穫生産やコスト低減を推進する。
- 米価変動の影響を受けない飼料用米は、国の支援制度を踏まえ、水田フル活用や経営の安定化の観点から活用を図る。

1

平成31年産(2019年産)、32年産(2020年産)の県生産目標の設定について

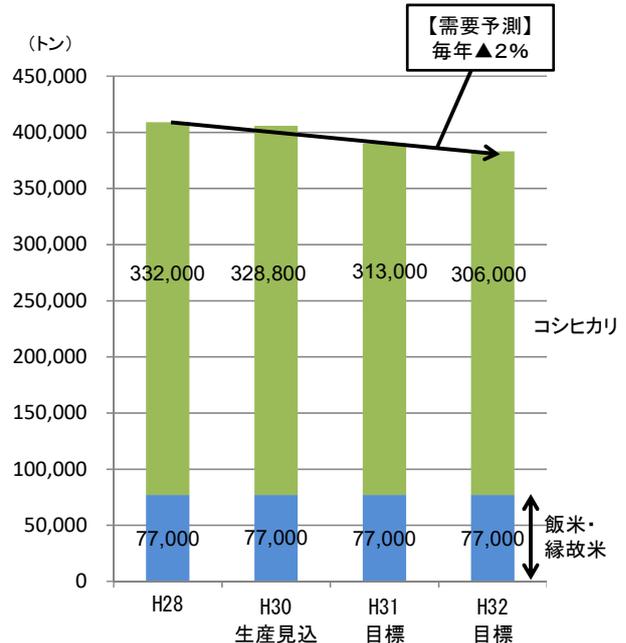
〔前提〕

- ① 主食用米の生産目標については、全国需要量の減少を考慮して、年間1,000ha程度の作付減少を見込み、H28年産検査実績をベースに「新潟米基本戦略」でH32年産までの目標を設定
- ② その中でコシヒカリは、家庭内消費需要の減少に見合う縮小を継続し、また、業務用米等は所得確保の観点から、多収穫栽培による単収の増加を加味して設定
- ③ 非主食用米については、水田フル活用の観点から、12万ha程度の水稻作付面積を維持するよう、主食用米減少分を考慮し、設定

〔年次別生産目標設定の考え方〕

- H32年産までの県全体の主食用米生産目標と用途別・品種別の内訳を、H30年産の取組の進捗状況を踏まえて見直し
 - ・H32年産目標(見直し)
H30年産の生産見込みが既に上回っている「その他うるち」と、実需と結びついた生産が定着している「もち・酒米」の生産目標を見直し、主食用米合計の目標を再設定
 - ・H31年産目標(新規設定)
H30年産の生産目標・見込みとH32年産目標を勘案して新規に設定

<コシヒカリのイメージ>



2

新潟米の県全体の生産目標

【主食用米】

(単位:トン)

用途	品 種	平成30年 (目標)	平成30年 (生産見込)	平成31年 (目標)	平成32年 (目標)	平成31、32年産目標の考え方
家庭消費用	コシヒカリ	319,000	328,800	306,400~313,000	306,000	一定の価格維持の観点から、家庭内消費需要の減少に見合う縮小を継続
	新之助	10,000	11,000	14,700~15,000	15,000	31年産は、種子の要望量や需要等を踏まえ設定し、32年産は31年産を前提に仮置き
	こしいぶき	59,000	75,500	57,800~59,000	59,000	業務用向けで、32年目標を既以上に上回っていることから目標を上方修正
その他うるち	24,000	33,000	35,200~36,000	(29,000) +7,000 36,000		
もち米・酒米		38,000	26,300	25,400~26,000	(36,500) ▲10,500 26,000	県内実需者と結びついた生産が定着しているため、現行生産量を維持することとし、32年目標を下方修正
主食用米合計 (下段は面積換算値)		450,000 82,800ha	474,600	439,500~449,000 80,000~81,700ha	442,000 80,700ha	
飯米・縁故米		77,000				

3

【非主食用米】

(単位:トン)

品 種	平成30年 (目標)	平成30年 (生産見込)	平成31年 (目標)	平成32年 (目標)	平成31、32年産目標の考え方
加工用米	39,000	43,700	47,000~50,400	(40,000) +12,000 52,000	県内米関連産業の需要に応えきれていないことから、目標を引き上げ、一層の生産拡大
米粉用米	12,000	10,700	12,000~12,700	13,000	県内実需のニーズはあるが十分に満たされていないため、目標達成に向け、引き続き生産拡大
輸出用米	7,000	4,800	8,000~8,500	10,000	30年産米が、県内の主たる輸出事業者の集荷目標を下回っている状況であり、目標達成に向け、引き続き生産拡大
飼料用米	37,000	15,800	35,000~37,500	(47,000) ▲12,000 35,000	地域内流通の需要を精査し、目標を下方修正
備蓄米	34,000	14,900	34,000~36,500	34,000	一定の所得確保が期待できるため、生産を維持
非主食用米合計	129,000	89,800	136,000~145,600	144,000	

4